

ペシャワール会=発行

忘羊社=発売

A5判上製・432ページ

ISBN978-4-907902-34-6

定価：2,970円(2700円+税)

2023年6月刊



病・貧富・戦乱… 世界の不条理に挑む 長い旅が始まった。

日本の支援者に向けて送られた 37年間の活動報告を集めた決定版! (上下巻/下巻は'24年春刊)

1984年、パキスタン北西部の古都ペシャワールのハンセン病棟に赴任した中村哲医師。ソ連撤退と国際援助ラッシュの狂騒を尻目に、内戦下のアフガン、そしてパキスタン最奥部の無医村へ。寄る辺なき患者達に希望の灯を届けるべく苦闘し続けた実践の軌跡。

中村哲(なかむら・てつ)…1946年(昭和21年)福岡県生まれ。医師。ペシャワール会現地代表/PMS(平和医療サービス)総院長。九州大学医学部卒業。日本国内の病院勤務を経て、84年にパキスタンのペシャワールに赴任。以来、ハンセン病を中心とした貧困層の診療に携わる。87年よりアフガニスタン難民のための医療チームを結成し、山岳無医地区での診療を開始。91年よりアフガニスタン東部山岳地帯に三つの診療所を開設し、98年にはペシャワールに基地病院を設立。2000年からは診療活動と同時に、大干ばつに見舞われたアフガニスタン国内の水源確保のために井戸掘削とカレーズ(伝統的な地下水路)の修復を行う。03年、「緑の大地計画」に着手、ナンガラハル州に全長27キロメートルに及ぶ灌漑用水路を建設。その後も砂嵐や洪水と闘いながら沙漠化した農地を復旧した。マグサイサイ賞「平和と国際理解部門」、福岡アジア文化賞大賞など受賞多数。19年10月にはアフガニスタン政府から名誉市民証を授与される。2019年12月4日、アフガニスタンのジャララバードで凶弾に倒れる。著書:『ペシャワールにて』『ダラエ・ヌールへの道』『医者 井戸を掘る』『医者は国境を越えて』『医者、用水路を拓く』(以上、石風社)、『天、共に在り』『わたしは「ゼロ弾きのゴージュ』』(以上、NIKK出版)、『アフガン・緑の大地計画』(PMS&ペシャワール会)、『希望の一滴』(西日本新聞社)など。

中村哲

Nakamura Tetsu

「ペシャワール会報」現地活動報告集成

上

1983～2001

中村哲 思索と行動



お名前 (フリガナ)	ご住所・電話番号	注文冊数
	〒 電話番号:	冊

- ・代金は後払い。郵便振込用紙を同封して送付致します(別途払込手数料が必要です)。
- ・送料(実費)は別途ご負担頂いております。繁忙期は発送が多少遅れることがあります。ご了承ください。

ペシャワール会事務局 〒810-0003 福岡市中央区春吉1丁目16-8 VEGA 天神南 601号

電話 092-731-2372 / FAX092-731-2373 / メール: peshawar@kkh.biglobe.ne.jp